

粕谷和夫の観察日記。神奈川県二宮町の吾妻山山頂で6万株もの早咲きの菜の花が迎ごろを迎えられて、1月30日に行って来ました。暖かい好天に恵まれて、パノラマで見える丹沢・箱根の山々・相模湾・伊豆半島・真っ白な富士山が目の前に広がっていました。麓の「のうてんき」という有機野菜の美味しいランチを食べました。写真は野菜サラダです。

# 紅葉台



# 新聞

第171号

2025年  
3月1日

発行人：関谷 孝

## 歴史にゆかりの 世田谷散歩

上谷聡枝

東急世田谷線三軒茶屋駅のプラットホームに静々と猫電車が入ってきました。乗客が降り反対側のドアが開き乗車、「猫電車に乗れた」ちょっと得した気分になります。今回ご紹介する『散歩コース』の出発点は、この三軒茶屋駅から3つ目の駅『松陰神社駅』です。



散歩コースの流れは、

- ①松陰神社(世田谷区若林 4-35-1 午前7時～午後5時)
  - ②世田谷城址公園(世田谷区豪徳寺 2-14-1)
  - ③豪徳寺(世田谷区豪徳寺 2-24-7 午前5時～午後5時)
- そして、その間に面白いお立ち寄りスポットや冒頭の猫電車の紹介も致します。

まず、松陰神社商店街通りを①松陰神社に向かって歩きます。下町の風情と洗練された店が混在しており1店舗1店舗入りたくなる商店街。映画『90歳何がめでたい』の主演・草笛光子さんが松陰神社商店街通りを映画の中で歩かれていました。映画のイメージに合っていたのでしょ。約5分で松陰神社に到着。ここは吉田松陰が祀られている神社です。安政の大獄により処刑され小塚原刑場回向院に埋葬された吉田松陰先生の亡骸を門下生達がこの地に改葬。1882年神社が創建されました。神社には松下村塾の原寸大のレプリカ(土日祝日のみ両戸開放)があります。吉田松陰先生を慕い先生の志を引き継ぐことになる多くの門下生(高杉晋作、伊藤博文、山縣有朋・・・)が目を輝かせて学んでいる姿が浮かびます。桜の季節には神社内でお抹茶と和菓子が頂けます。(松陰神社は165号に掲載)



松陰神社隣の若林公園から②世田谷城址公園に向かいます。ここからはずっと烏山川緑道を歩きます。目黒川支流の烏山川を暗渠にしたこの緑道は地元の方々の美しい植栽が目を楽しませてくれます。



1つ目の立ち寄りスポットは国士舘大学スカイラウンジ。場所は緑道側世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎34号館10階。新宿副都心、スカイツリー、富士山・・・と360度見渡せます。月曜日～金曜日の10時から21時まで営業しています。18時からは東京の素晴らしい夜景を見ながら一杯、との楽しみもあるようです。ここで豆知識を・・・先ほど説明しました松陰神社内の松下村塾の原寸大のレプリカ、これは国士舘大学が建

築しました。国士舘大学は『大正維新の松陰塾』つまり吉田松陰先生の教えを目指しています。国士舘大学は松陰神社の隣接地を教育の場として選びました。

世田谷城址公園に到着。ここはかつて世田谷城があった場所です。今は昔の面影を残す土塁や空堀跡が見られ世田谷百景に選ばれています。

いよいよ最終地点③豪徳寺に向かいます。

ここで2つ目の立ち寄りスポットは武田鉄矢邸宅です(笑)。武田鉄矢さんは幕末好き坂本龍馬好き、その知識はとても深い方です。世田谷城址公園辺りを自転車で回っている姿をみかける、との情報から邸宅を見つけてしまいました。邸宅近くに豪徳寺があります。豪徳寺は『招き猫』の発祥の地と言われています。その由来は、彦根藩2代藩主井伊直孝が猫の手招きに従いお寺に入ったために豪雨の難を逃れた、との伝説によります。そしてこのお寺豪徳寺は井伊家の菩提寺となりました。冒頭の猫電車の猫は招き猫です。つり革は猫の手、床には猫の足跡が描かれ子供達に人気の電車になっています。ここでまた豆知識を・・・私もブラタモリ(NHK番組)で知りましたが、滋賀県彦根市のご当地キャラクターの『ひこにゃん』のモデルは豪徳寺の猫、とのことです。井伊家と猫繋がりですね。井伊家の菩提寺豪徳寺には彦根藩16代藩主の井伊直弼も眠っています。井伊直弼による安政の大獄で刑死した吉田松陰は松陰神社で眠っています。二人の距離はわずか数百メートル。



幕末動乱の時代の人の生き様に思いを馳せつつ、この散歩コースを歩いてみませんか。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。